

フォーマンス、講演(クイズ)、エプロンシアター、会長、市長、保健所長に挨拶をいただいた8020の式典 口福もち 健診コーナーでの無料フッ素塗布、技工士会の(義歯のネーム入れ・ヨーヨーつり、型抜き、スーパーボールすくい)などイベントを企画しました。

3年目キシリトールの学校歯科予防事業う蝕予防事業のモデル事業として継続しています。

保健授業も継続して行いました。

6月からは、NPO法人「薔薇香る癒しのまち岩見沢」との協働事業として、歯と口の健康づくりの情報発信(現在、キシリトールの展示とアンケートによる情報収集)を行いました。NPO法人「薔薇香る癒しのまち岩見沢」とは良好な連携がとれていると思います。

10月23日は、『第12回8020歯っぴーフェスティバル』を開催しました。昨年の流れで企画を行い、当日のステージは大変な盛り上がりでした。式典には、市長、飯島代議士、保健所次長に出席いただきました。今回は事前に、会員向けに合同説明会も開催しました。

2年前、当時の市の教育委員会の課長に、キシリトールガムを応用した学校保健事業について説明に行ったことがあります。そのときに、「健康づくりは自己責任ですから(市の予算は出せない)」と軽く言われました。これは、私にとって忘れることが出来ない言葉です。

市との交渉するということは、地域保健活動を、市に予算面で補助・裏づけしてもらい、保健活動にマニュアル的に歯の健康づくりを定着させ、歯科受診を促すことを無意識に期待していたのかも知れません。専門家はこう考える。だから、検診を受けることは必要である。などというような専門家が考える健康づくりは、過去のものであったのです。

今後の地域保健のイメージは、自立した大人同士の連携の結果として、健康づくり事業を行っていく。知識がなければ、どんなにより情報を提供

しても、納得することはできません。地域の住民との信頼関係の構築が何よりも先になります。

我々歯科の専門職は、プライドをもって市民活動を支援するという役割で、生活習慣の問題提起、検診、口腔機能の評価およびその維持・向上に向けたサービスの提供体制を整備していくことで、住民の信頼を勝ち取り、歯科に関する価値観が向上し、社会にみつめられます。

年間を通じて、歯科医師会の事業を企画し、多くの住民が参加していただき、歯科医師会活動を認知していただき、健康づくりを大切に思っただく知識を提供し、今後の住民参加というテーマでの健康づくり活動につなげることです。

個人が、健康づくりのために喜んでお金を支払う(施設またはサービスが溢れる)社会町全体が元気で活動的な人であふれる社会。

以上を目標に、地域の中で公衆衛生活動を続けてまいりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

